

主題：ヨベル

メッセージ 10

ローマ第 8 章におけるヨベルの自由と生活の大きな発見

聖書：ローマ 8:2, 4-6, 11, 13-16, 23, 34-39

I. ヨハネ第 8 章は、罪の束縛の下にある者の必要が、命が自由にすることであることを啓示しています。この章は、主イエスが罪のない方であり、罪を罪定めし、赦すことができ、人々を罪から解放することができる方であることを啓示しています：

- A. 人々を罪の束縛から解放する方は、キリスト、すなわち、世の光であり、命の光を与える方（12-20 節）、キリスト、あの「わたしはある」（21-27 節）、キリスト、上げられた人の子（28-30 節）、キリスト、実際としての御子（31-36 節）です。
- B. 大いなる「わたしはある」としての主は、命としてわたしたちの中に入って来るとき、わたしたちの内側で光として輝き、真理としての神聖な要素をわたしたちの中にもたらしめます。この真理は、わたしたちの中に分け与えられ、わたしたちによって実際化された神聖な要素であり、人の光としての神聖な命によって、わたしたちを罪の束縛から解放します—— 12, 32, 36 節。
- C. わたしたちを自由にし、「本当に自由」にする真理としてのキリストは、わたしたちを罪と死の法則から解放する命の霊の法則です—— 36 節。ローマ 8:2。

II. パウロは、三一の神が、肉体と成ること、人の生活、十字架、復活、昇天の手順を経過して、命の霊の法則となり、わたしたちの霊の中に設置されたという、大きな発見をしました—— 3, 11, 34, 16 節：

- A. 命の霊の法則は、神聖な命の自然な力です。それは神聖な命の自然な特徴、本質的で自動的な機能です。
- B. わたしたちの存在の三つの異なる部分には、三つの異なる法則があります：
 - 1. わたしたちの腐敗し、汚染され、変化した体の中の罪と死の法則は、わたしたちの肉に住んでいる罪としてのサタンです。肉は罪、サタン、死の「集会所」です—— 6:6, 12, 14. 7:11, 24, 18, 23。
 - 2. わたしたちの思いの中の、すなわち魂の中の善の法則は、わたしたちの天然の人の命です—— 23 節。
 - 3. わたしたちの霊の中の命の霊の法則は、その霊として、わたしたちの享受のために、わたしたちの霊の中に設置された三一の神です—— 8:2, 16. ガラテヤ 6:18。
- C. この三つの法則は、エデンの園にあった三者（神、人、サタン）を代表します。信者の内の三つの法則に加えて、外側には神の律法があります——ローマ 7:22, 25：
 - 1. 律法の旧契約は神の絵ですが、命の霊の法則としての恵みの新契約は神のパーソンです——ヨハネ 1:16-17。
 - 2. 律法は、神が何であるかにしたがって人に要求します。命の霊の法則としての恵みは、神が何であるかを供給し、神が要求することに応じます。
 - 3. わたしたちがキリストの中へと信じるとき、この絵のパーソンは命の霊の法則と

してわたしたちの中に入って来ます。そしてわたしたちが霊にしたがって歩き、わたしたちの思いを霊に付けるとき、彼はわたしたちの中で律法の義の要求を満たします——エゼキエル 36:26-27. ローマ 8:2, 4, 6, 10-11. 詩 23:3。

Ⅲ. クリスマンは自分の意志の力によってではなく、霊の中の復活の命の内なる霊の法則の力によって生きるべきです。この法則は偉大な力を所有しています。それは死に打ち勝ち、死を超越し、死によって束縛されません——ローマ 7:19. マタイ 26:41. エペソ 1:19-23. コロサイ 1:28-29. II コリント 1:8-9. ヨハネ 11:25. ヘブル 7:16. 使徒 2:24. 啓 1:18 :

- A. ローマ第7章でパウロは、律法の下で善を行なおうとすることの悲惨さを記述しています。彼は、同情深いサマリア人としての主を必要としました。このサマリア人は、墮落し、律法に打たれた罪人としての彼の世話をした隣人です。それは、キリストのからだの実際のために、ご自身を命の霊の法則として、彼の中に分与することによってです—— 24-25 節. ルカ 10:25-37。
- B. わたしたちは、罪と死がわたしたちの中の法則であること、わたしたちの意志の力はこの法則に打ち勝つことができないことを、見なければなりません——ローマ 7:15-16, 18-21。
- C. もしあなたが、罪が法則であること、あなたの意志が決してこの法則に打ち勝つことができないことを見ていなかったなら、ローマ第7章の罠にかかります。あなたは決してローマ第8章に到達しないでしょ。
- D. あらゆる命には法則があり、法則でさえあります。神の命は最高の命であり、命の霊の法則は最高の法則です——箴 30:19 前半. 申 32:11-12. イザヤ 40:30-31。
- E. 神聖な誕生はわたしたちを新しい領域に、わたしたちの霊の中の法則を伴う神聖な命の領域に、罪、この世、肉がない領域に移しました：
 - 1. この領域の中で、すべての勝利は無意識のものであり、努力を要しません。なぜなら命の霊の法則は、わたしたちの意志ではなく、わたしたちを支えるからです。
 - 2. わたしたちは命の霊の法則を、神の臨在、神の語りかけ、神との出会い、神の分与として、わたしたちの霊の中に住まわせています——ヘブル 8:10. ローマ 3:25. 出 25:22。

Ⅳ. わたしたちは、霊を活用してこの法則に「スイッチを入れる」ことによって、設置され、内側で活動する命の霊の法則と協力することができます。それによってわたしたちは、ヨベルの自由と生活としてのキリストを享受することができます——ピリピ 2:12-13. ローマ 8:2, 4-6, 13-16, 23. 5:10, 17. I テモテ 4:7. II テモテ 4:22 :

- A. わたしたちの霊という「スイッチ」を離れて、「天の電気」としての手順を経た三一の神をわたしたちの中に適用する道はありませんが、主を賛美します、わたしたちはスイッチを持っており、それがどこにあるかを知っています！——箴 20:27. ゼカリヤ 12:1. ローマ 8:16。
- B. わたしたちの霊の中の流れる霊の、神聖で奥義的な流れにスイッチを入れる最上の方法は、主イエスの御名を呼び求めることです——I コリント 12:3 後半. ローマ 10:12-13。
- C. わたしたちは霊を活用することを通してその霊と接触するとき、ヨベルの無数の豊

富な面のすべてであるキリストを享受します—— 8:4 :

1. 「霊の中で解放され、自分を義とすること、自分を意識すること、自分を責めることを離れます」。
 2. 「霊の中で解放され、自分の意志から離れます。自己愛、自己の高ぶり、自己に栄光を帰すことはみな抑圧されます」。
 3. 「霊を訓練し、活用すべきであり、主の勝利を適用します。罪を洗う尊い血により、また主の大能の御名によります」。
 4. 「霊を訓練し、活用すべきであり、このように主に触れます。霊をもって主の言葉に触れ、主の豊富を満喫します」。
 5. 「霊を用いることを通してのみ、キリストは証しされます。霊を用いることを通してのみ、人は供給を得ます」。
 6. 「霊を訓練し、活用すべきであり、これがわたしの必要です。霊を訓練し、活用すべきであり、主はこのように導かれます」(詩歌 628 番、5-10 節)。
- D. パウロは、霊の中で、主に対する初めの愛から神に仕えることによって、命の霊の法則にスイッチを入れた人でした——ローマ 1:9. 5:5. 8:35-39. 啓 2:4 :
1. 初めの愛をもって主を愛することは、すべての物、すべての事において彼に第一位を与え、彼をわたしたちの生活の中ですべてと考えることです——コロサイ 1:18 後半, 10。
 2. 神がわたしたちの中に入って来てわたしたちから出て来るとき、それはわたしたちが彼に仕えることです。わたしたちは召会の中でキリストと共に働き、そこでわたしたちの初めの愛を彼にささげます——雅 7:12. II コリント 6:1 前半. ピリピ 3:3. マルコ 12:30。
 3. 初めの愛をもって主を愛するとき、わたしたちは初めのわざを行いません。それは、初めの愛から出て来て、それを表現する働きです。初めの愛によって動機づけられた働きだけが、金、銀、宝石です——啓 2:4-5. I コリント 3:12. 15:10, 58。
 4. キリストの愛情の愛がわたしたちに押し迫って、彼に対して死なせます——II コリント 5:14-15. ローマ 14:7-9。
- E. 思いを霊に付けることによって、わたしたちはヨベルとしてのキリストを享受します——「肉に付けた思いは死ですが、霊に付けた思いは命と平安です」—— 8:6 :
1. 「肉の中で、特に力を用いなくても、わたしはすぐにアダムの腐敗した形を現し出すことができます。その霊の中で、もっぱら志を立てなくても、わたしはキリストの栄光の姿を生かし出すことができます」。
 2. 「ただその霊に付くことが、神の救いの方法です。ただその霊に付きます。これ以外に救いはありません。ただその霊に付けば、情欲に打ち勝つことができ、ただその霊に付けば、罪の法則から離れることができます」。
 3. 「ただその霊に付けば、十字架の経験を持ち、ただその霊に付けば、復活の力を得ます。ただその霊に付けば、キリストを生かし出すことができ、ただその霊に付けば、必ず命を円熟させます」。
 4. 「その霊において、キリストは命であり、その霊において、命は大能を持ちます。その霊において、聖とされることが経験となり、その霊において、経験は実際と

なることができます」(詩歌 435 番、3, 5-7 節)。

V. ローマ第 8 章におけるヨベルは、ローマ第 12 章から第 16 章で展覧された、キリストのからだの実際(成就された神・人の団体の生活)です：

- A. 神はご自身を命の霊の法則としてわたしたちの中に分与することによって、彼のエコノミーを完成します——8:2, 6, 10-11. 啓 22:1-2 前半。
- B. 命の霊の法則はわたしたちをキリストのからだの肢体に構成し、あらゆる種類の機能を伴わせます——コロサイ 2:19. エペソ 4:11, 16. ローマ 12:4-8。
- C. わたしたちの内側の命の霊の法則の自然で、自動的な機能を通して、わたしたちは神を知り、神を獲得し、こうして神を生き、神で構成されることができるようになります。それによってわたしたちは彼の拡張、また彼の拡大となって、彼の豊満となり、彼を表現します——エペソ 1:22-23. 3:19-21。